

大王グループと共同で 長距離輸送効率化の新たな取り組みを開始

— トラックドライバーの労働負荷、環境負荷の低減を目指す —



両グループ貨物の混載の様子

上段：大王グループの貨物（ノーカーボン紙） 下段：サントリーグループの貨物（飲料製品）

サントリーロジスティクス（株）はサントリーホールディングス（株）ならびに、大王製紙（株）、ダイオーロジスティクス（株）と共同で、関東圏・関西圏間の長距離輸送効率化に向けた新たな取り組みを8月から順次稼働します。

人手不足やさらなる物量の増加など、物流を取り巻く環境の変化への対応は、近年ますます重要な課題となっています。サントリーロジスティクス（株）はこれまでも「スマートロジスティクス」の取り組みを進め、先端技術の活用や各企業・自治体との連携による、安全・安心で持続可能な物流の実現を目指してきました。

今回、各グループの物流機能会社であるサントリーロジスティクス（株）とダイオーロジスティクス（株）が、長距離トラック輸送において各グループの製品を混載し、積載率の向上や輸送効率化を進めます。また3人のトラックドライバーがリレー形式で輸送（ス

イチ輸送)することで、長距離輸送における労働負荷を低減します。両社は東京・大阪間で、鉄道によるコンテナの往復輸送も開始しており、これらの取り組みにより、トラックドライバーの運転時間を年間当たり約3,900時間減らせるほか、CO2の排出量を約215トン削減します。

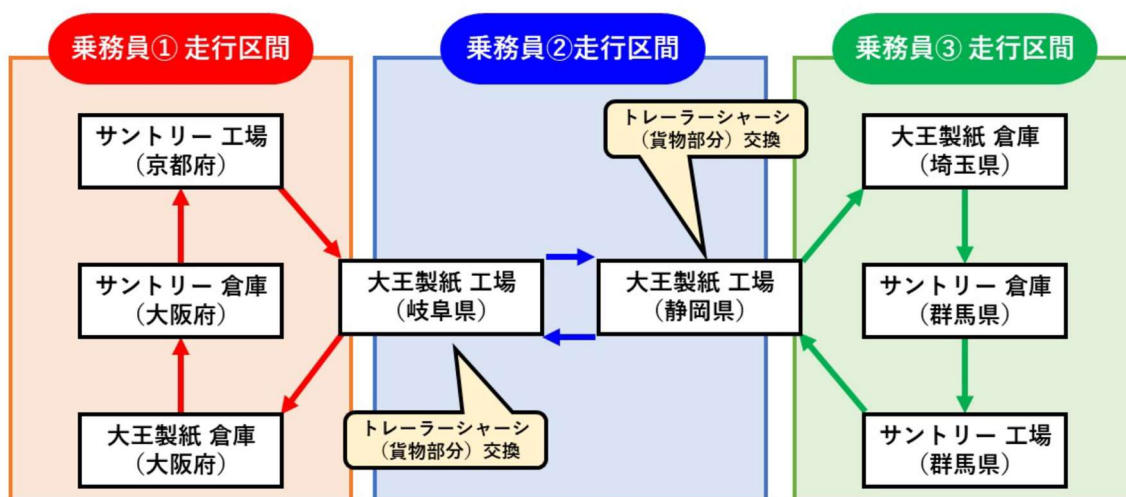
両社は、2017年から輸送協力を行っており、今回さらにトラックドライバーの労働負荷と環境負荷の低減を進めます。

〈取り組み内容〉

●貨物を混載したトレーラーのスイッチ輸送

サントリーグループの飲料製品を積んだのち、トレーラー内上部の空いているスペースに大王製紙(株)の製品を混載することで、容積・重量とも積載率を100%に近づけ、輸送効率の向上を図ります。運行するトラックを両社で年間当たり約180台削減し、トラックドライバーの運転時間を約2,100時間、CO2排出量を約115トン削減します。

また、混載したトレーラーの輸送では、大王グループの拠点2箇所を中継地として活用します。輸送エリアを関東圏、中部圏、関西圏に3分割し、3人のトラックドライバーがリレー形式で輸送することで、ドライバーの労働負荷を低減します。

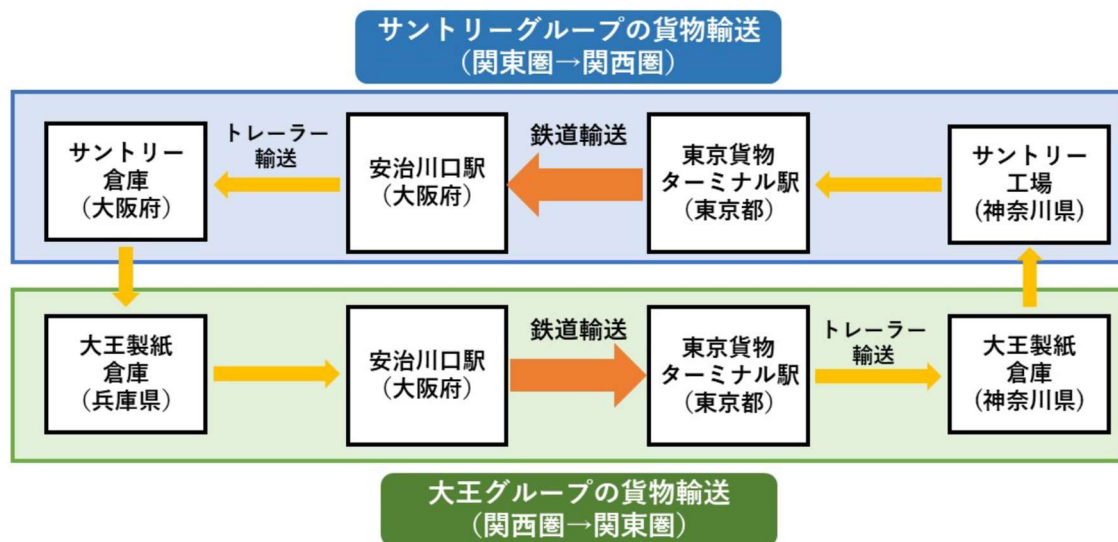


※倉庫については自社拠点以外(委託先など)も含む

貨物を混載したトレーラーのスイッチ輸送のイメージ

● 31フィート鉄道コンテナを共有した往復輸送

31フィートコンテナを共同で使用し、東京・大阪間で、トラック輸送に比べ環境負荷が少ない鉄道輸送を行います。サントリーグループは関西圏から関東圏への貨物移動が比較的少なく、これまでは単独で同区間での往復輸送を行うことは難しい状況でした。そこで、関西圏から関東圏への貨物移動が多い大王グループと協力し、それぞれ片道ずつ貨物を積載することで、往復での輸送を実現します。また、一般的な12フィートコンテナよりも大きい31フィートコンテナを使用することで、輸送の効率をさらに高めます。年間当たり運行するトラックを約290台削減し、トラックドライバーの運転時間を約1,800時間、CO2排出量を約100トン削減します。



31フィート鉄道コンテナを共有した往復輸送のイメージ

なお、今回の取り組みは、国土交通省による物流総合効率化法に基づく総合効率化計画の認定、およびモーダルシフト等推進事業の交付を受け、実施します。

以上

〔本件に関する問い合わせ先〕

サントリーロジスティクス株式会社 経営企画部 広報担当

Tel: 03-6809-5790 Fax: 03-6453-8453

青羽 Mail: keisuke_aoba@suntorylogistics.co.jp 中村 Mail: godai_nakamura@suntorylogistics.co.jp

SUNTORY LOGISTICS
SUNTORY